

三倉地区中学生以上全住民 アンケート結果について

株式会社 政策基礎研究所

三倉地区中学生以上全住民アンケート 調査実施について

- 目的：三倉地区に今後も住み続けるための支えあいのしくみを作るため、今ある課題を把握する。
- 対象者：三倉地区にお住まいの中学生以上の方全員
- アンケート実施から本日までのスケジュール

実施項目	年月日	内容等
町内会長説明	令和元年12月6日	○趣旨説明及び協力依頼 ○29年度実施 ワークショップの報告
事前説明及び アンケート作成会議	令和元年12月26日	○町内会代表者によるアンケート 項目検討
アンケート実施	令和2年1月配布 2月回収	○町内会長、組長の協力により、 アンケート配布及び回収
アンケート結果報告会	令和2年12月26日	○当初3～4月開催予定だったが、 新型コロナウイルス感染症拡大により延期

アンケート回答者属性（全体の票数：611票）

<性別>

1.男性	277	(45.3%)
2.女性	284	(46.5%)
無回答	50	(8.2%)

<年齢>

1.10歳代	15	(3.0%)
2.20歳代	31	(5.1%)
3.30歳代	35	(5.7%)
4.40歳代	45	(7.4%)
5.50歳代	78	(12.8%)
6.60歳代	125	(20.5%)
7.70歳代	120	(19.6%)
8.80歳代	109	(17.8%)
9.90歳以上	29	(4.7%)
無回答	24	(3.9%)

回答者の年代は60歳代が20.5%と最多であり、50歳以上が75.4%を占めている。

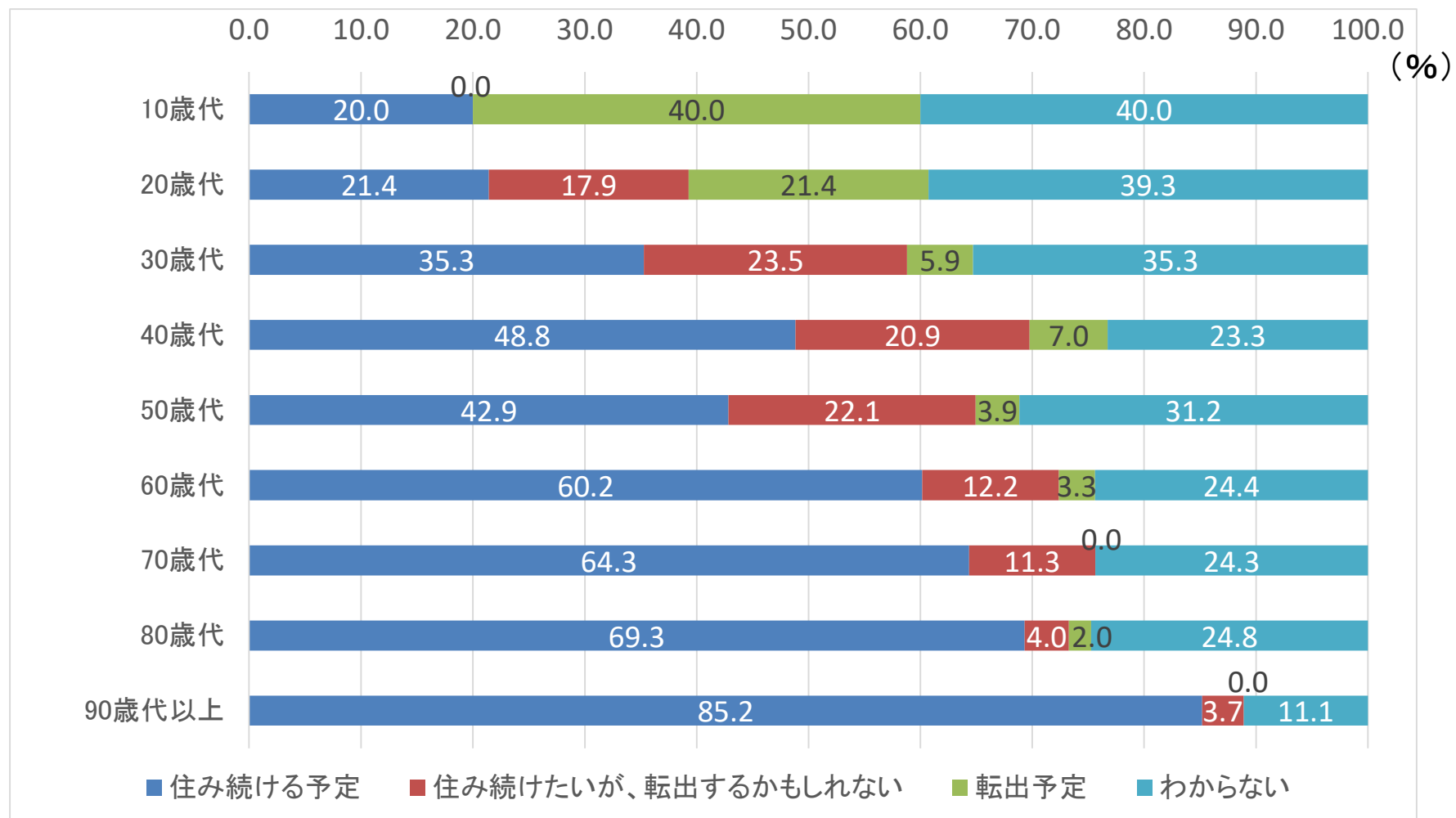
<お住まいの町内会>

1.黒田	71	(11.6%)
2.三倉	123	(20.1%)
3.中村	41	(6.7%)
4.上野平	57	(9.3%)
5.大河内	52	(8.5%)
6.木根	0	(0.0%)
7.乙丸	70	(11.5%)
8.大府川	17	(2.8%)
9.中野	28	(4.6%)
10.大久保	56	(9.2%)
11.田能	53	(8.7%)
無回答	43	(7.0%)

<職業>

1.農業、林業	77	(12.0%)
2.自営業（1以外）	37	(5.8%)
3.会社員・団体職員 ・公務員	150	(23.4%)
4.会社役員	17	(2.7%)
5.専業主婦（夫）	50	(7.8%)
6.生徒、学生	16	(2.5%)
7.パート、アルバイト	78	(12.2%)
8.無職	164	(25.6%)
9.その他	14	(2.2%)
無回答	37	(5.8%)

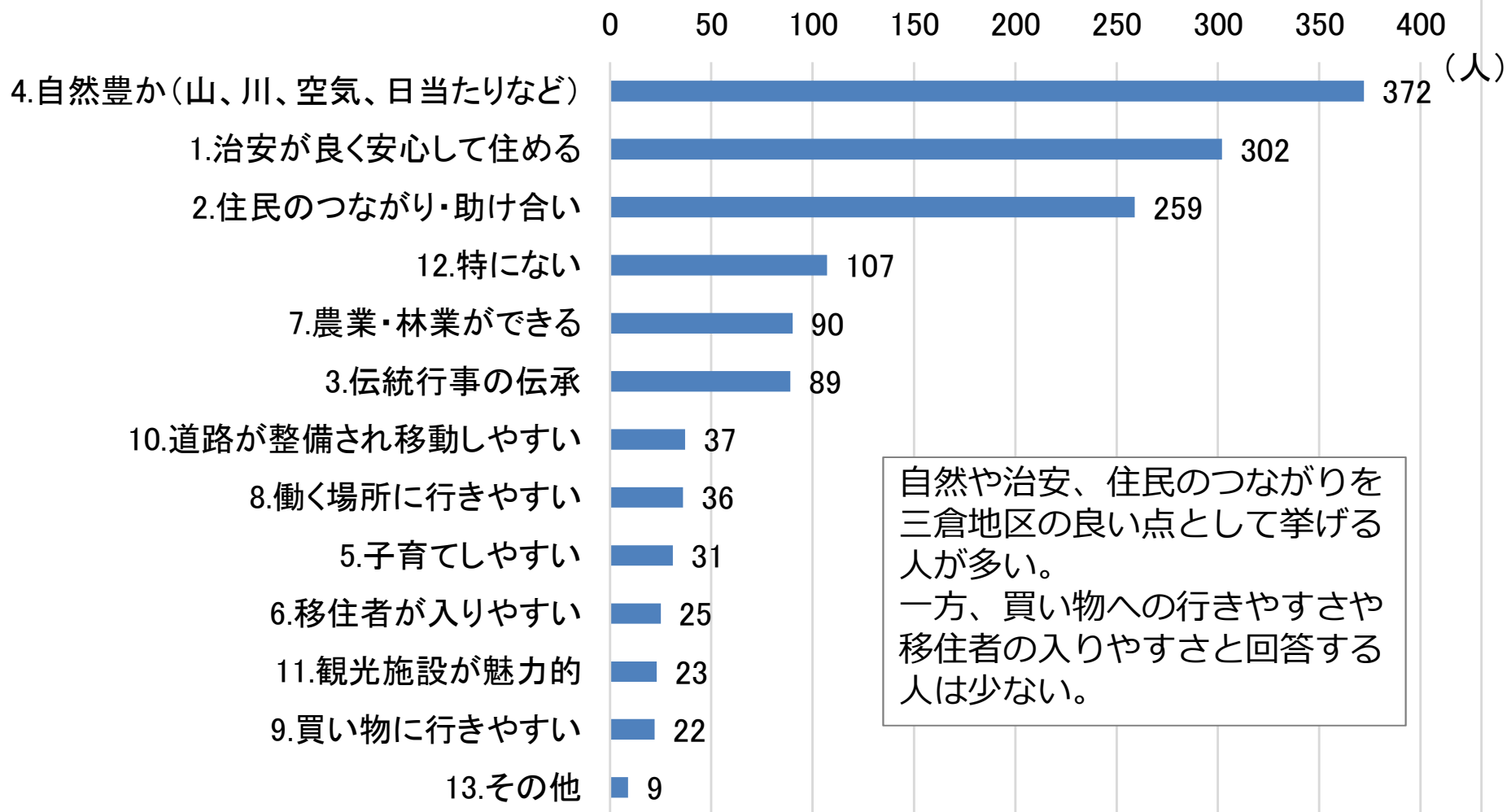
年代別「三倉地区に住み続ける予定」の割合（回答者563名）



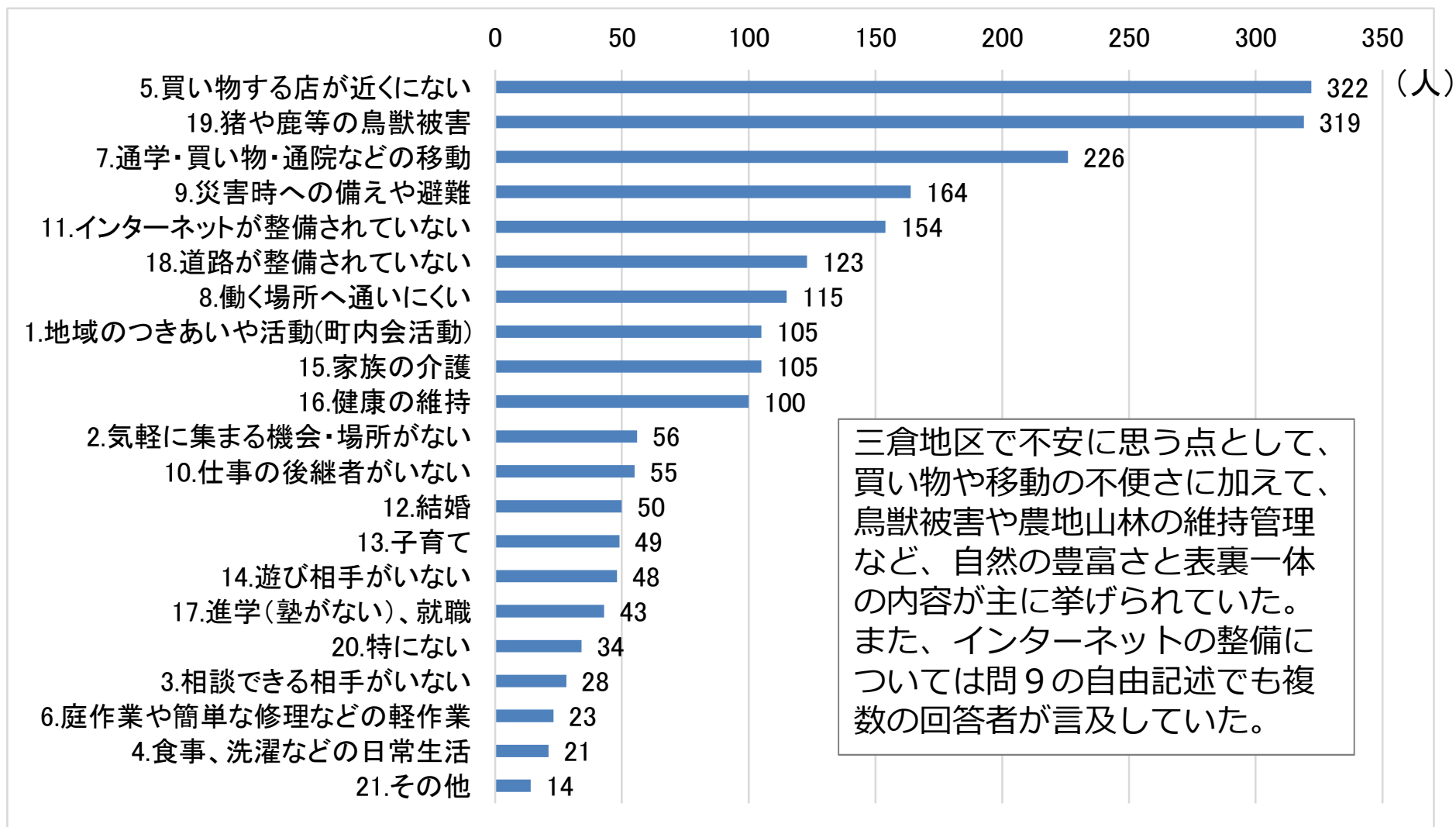
※「進学、就職などで転出するが、戻ってくる予定」はどの年代も回答者ゼロのため省略しました。

10歳代は「転出予定」が40%だが、20歳代では21.4%、30歳代では5.9%と低下。60歳代以上は60%以上が「住み続ける予定」と回答。

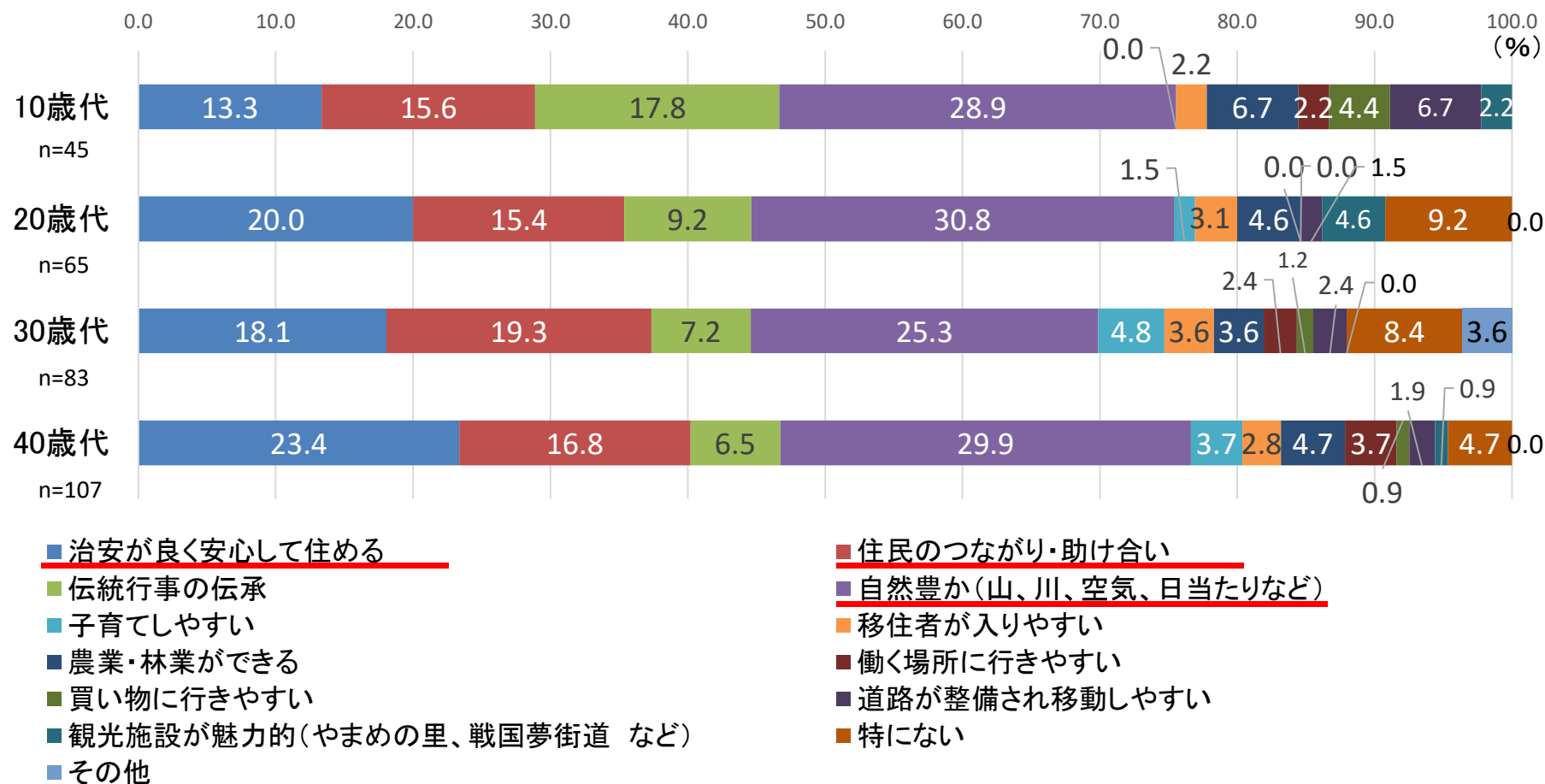
三倉地区に住んでいて、あなたが良いと思う点（複数回答）



三倉地区に住んでいて、あなたが不安に思うこと（複数回答）

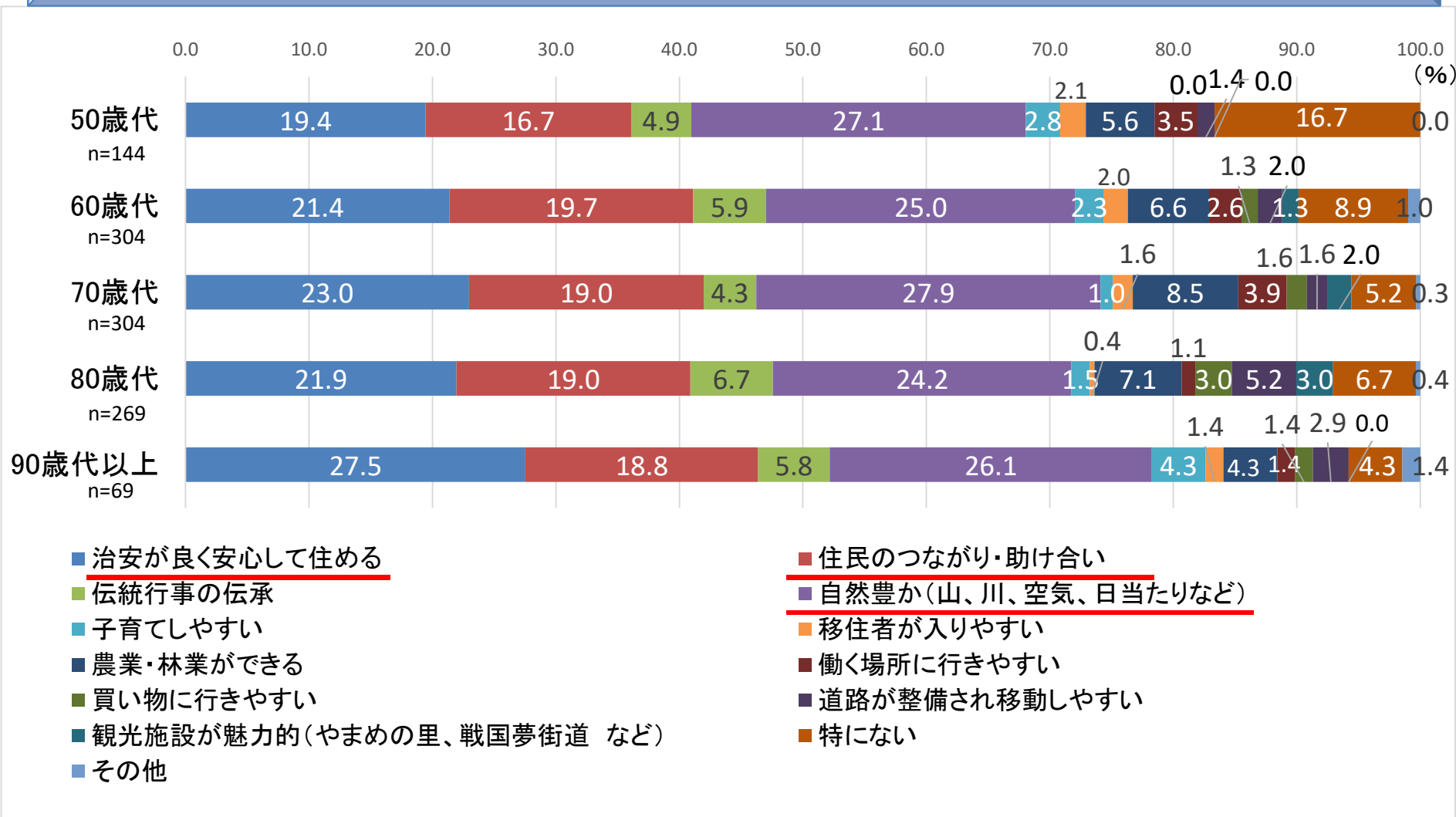


年代別の「三倉地区で良いと思うこと」の割合【50歳未満】（複数回答あり）



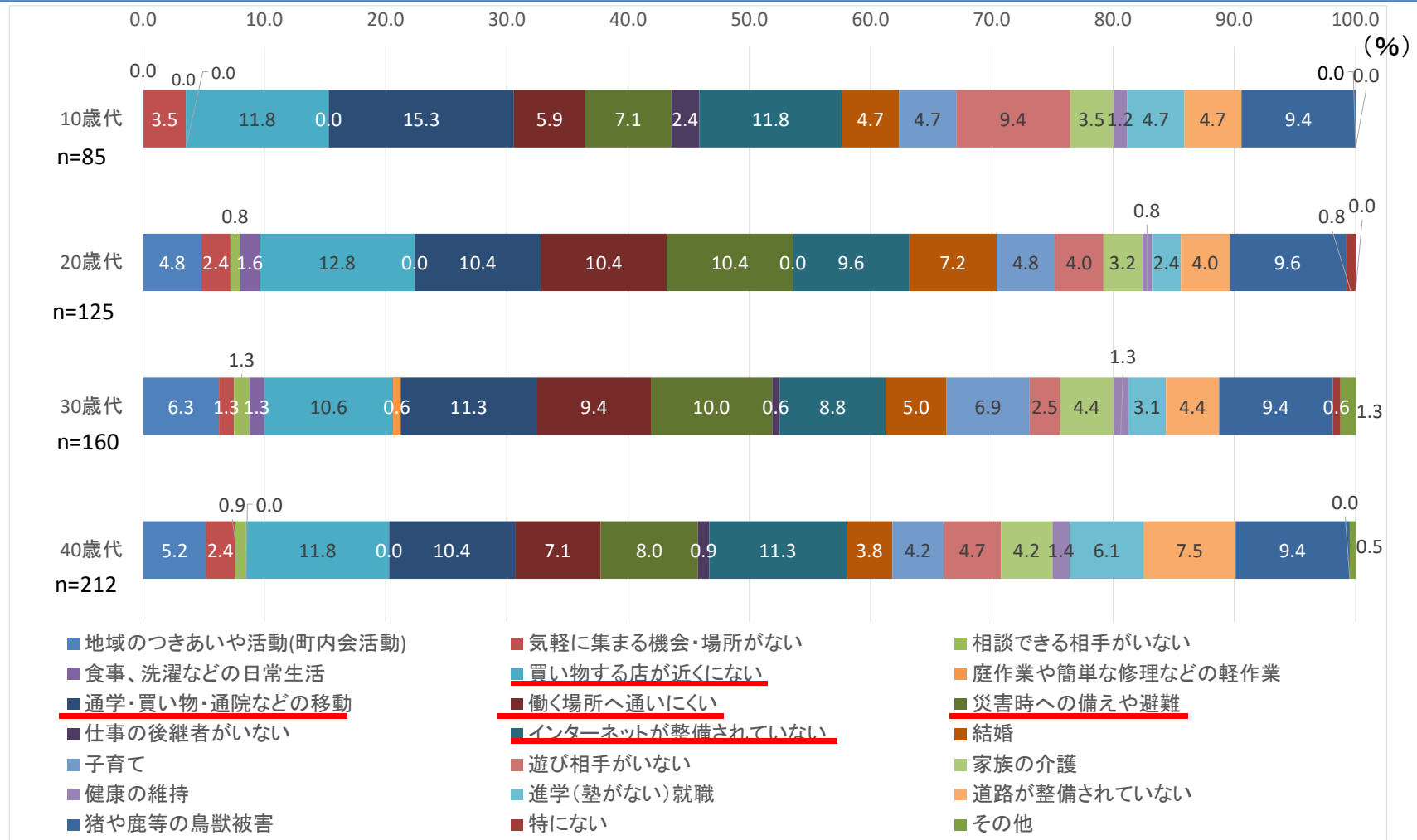
50歳未満のどの年代も、各項目のうち「自然豊か」への回答が最も多く、「住民のつながり・助け合い」「治安が良く安心して住める」が2, 3位（10歳代のみ「伝統行事の伝承」が2位）を占めている。

年代別の「三倉地区で良いと思うこと」の割合【50歳以上】（複数回答あり）



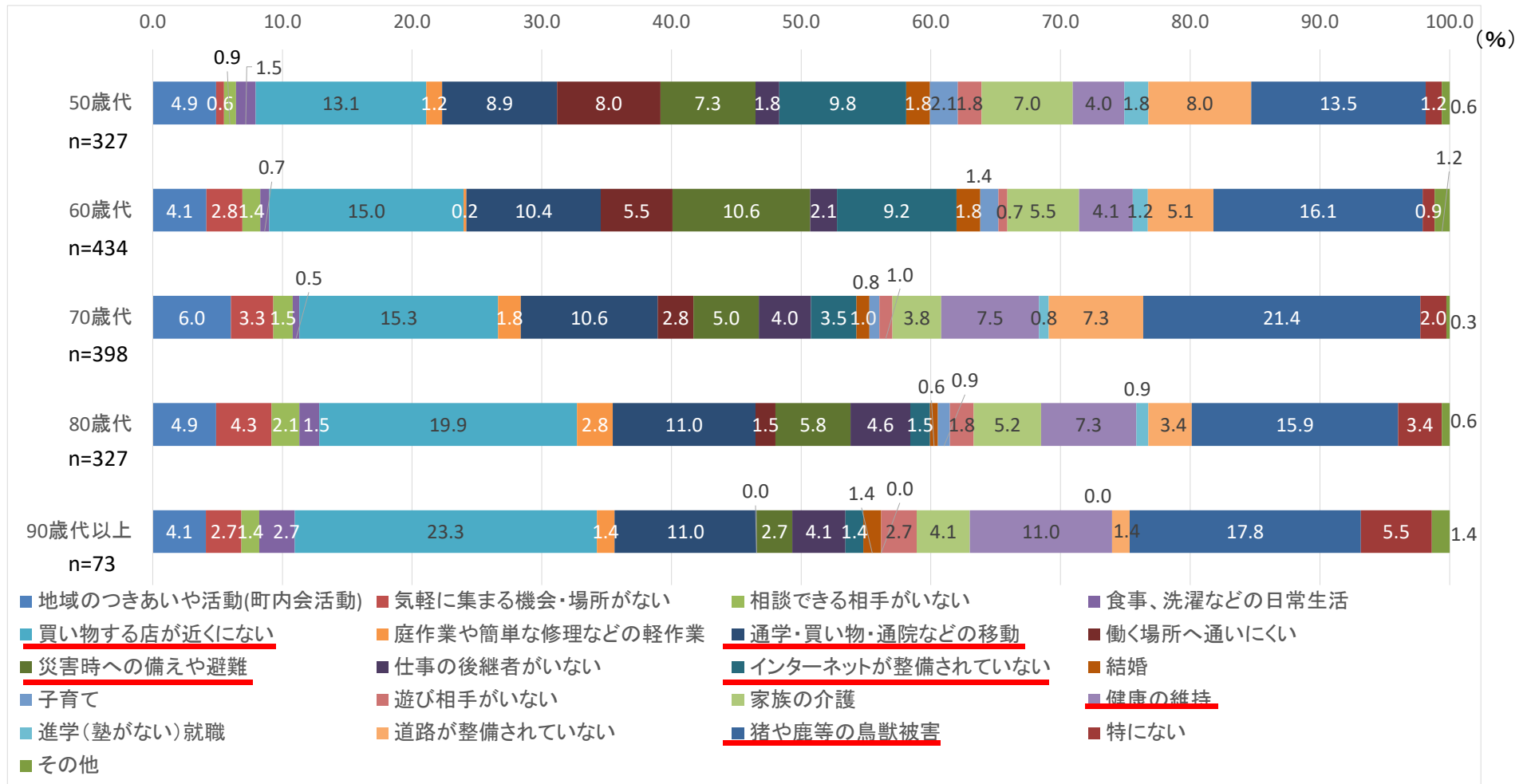
50歳以上でも上位3位は50歳未満と同じとなっている。

年代別の「三倉地区に住んでいて不安なこと、困っていること」の割合 【50歳未満】（複数回答あり）



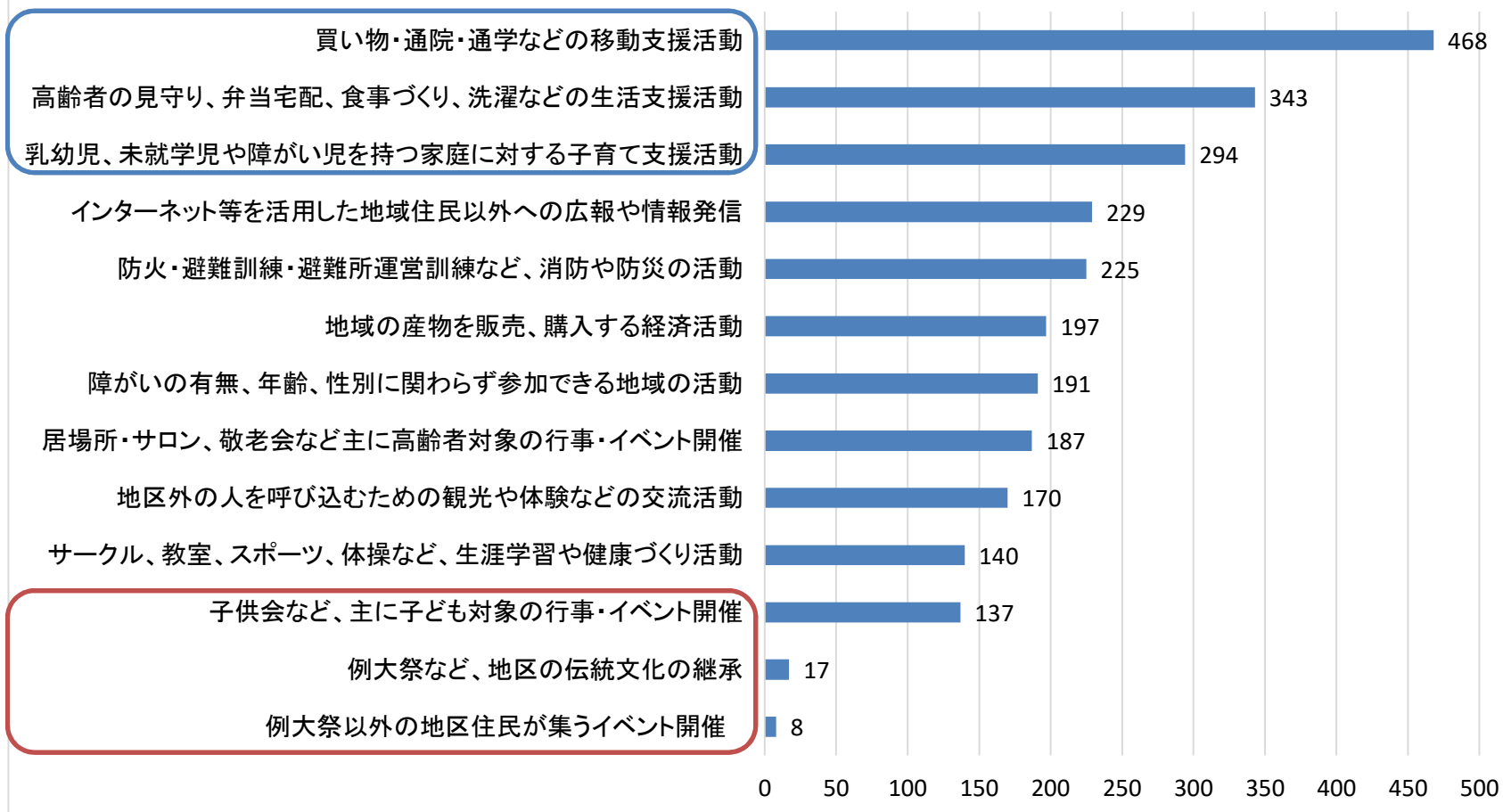
「買い物する店が近くにない」「通学・買い物・通院などの移動」が共通して上位3位以内に入っている。10歳代、40歳代では「インターネットの未整備」、20歳代、30歳代では「災害時の備えや避難」への回答が多い。

年代別の「三倉地区に住んでいて不安なこと、困っていること」の割合 【50歳以上】（複数回答あり）



「買い物する店が近くにない」「猪や鹿等の鳥獣被害」が共通して上位3位以内に入る。50歳代では「インターネットの未整備」60歳代では「災害時への備えや避難」も多い。また、「通学・買い物・通院などの移動」も全年代で10%前後いる。

地域で不足度の高い活動



(重要度) 重要である／やや重要である：1点

(重要度) あまり重要でない／重要でない：-1点

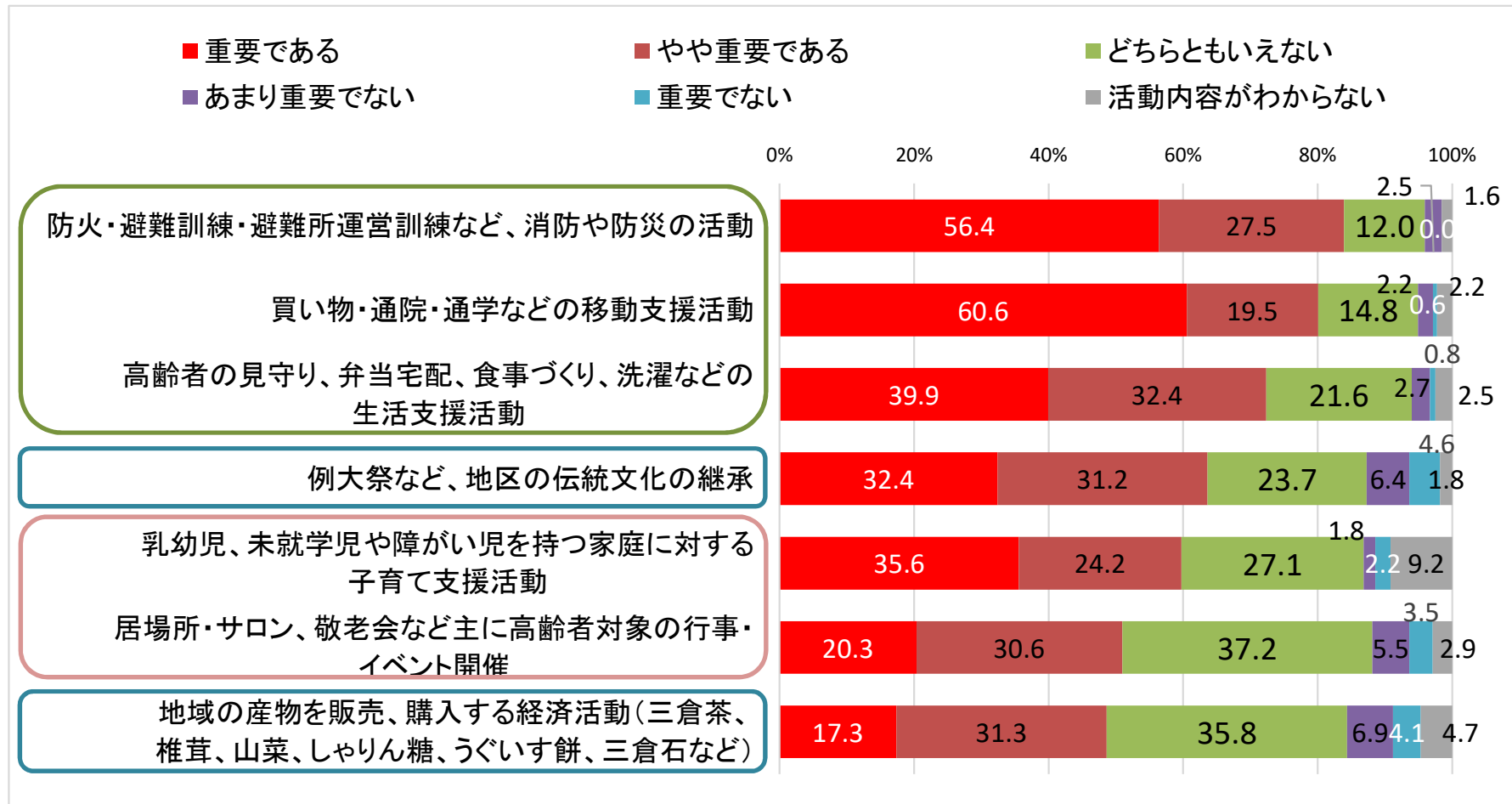
(満足度) 満足・十分活動している／やや満足している：1点

(満足度) やや不満である／不満である 活動が足りない：-1点

(共通) どちらともいえない／活動内容が分からない：0点

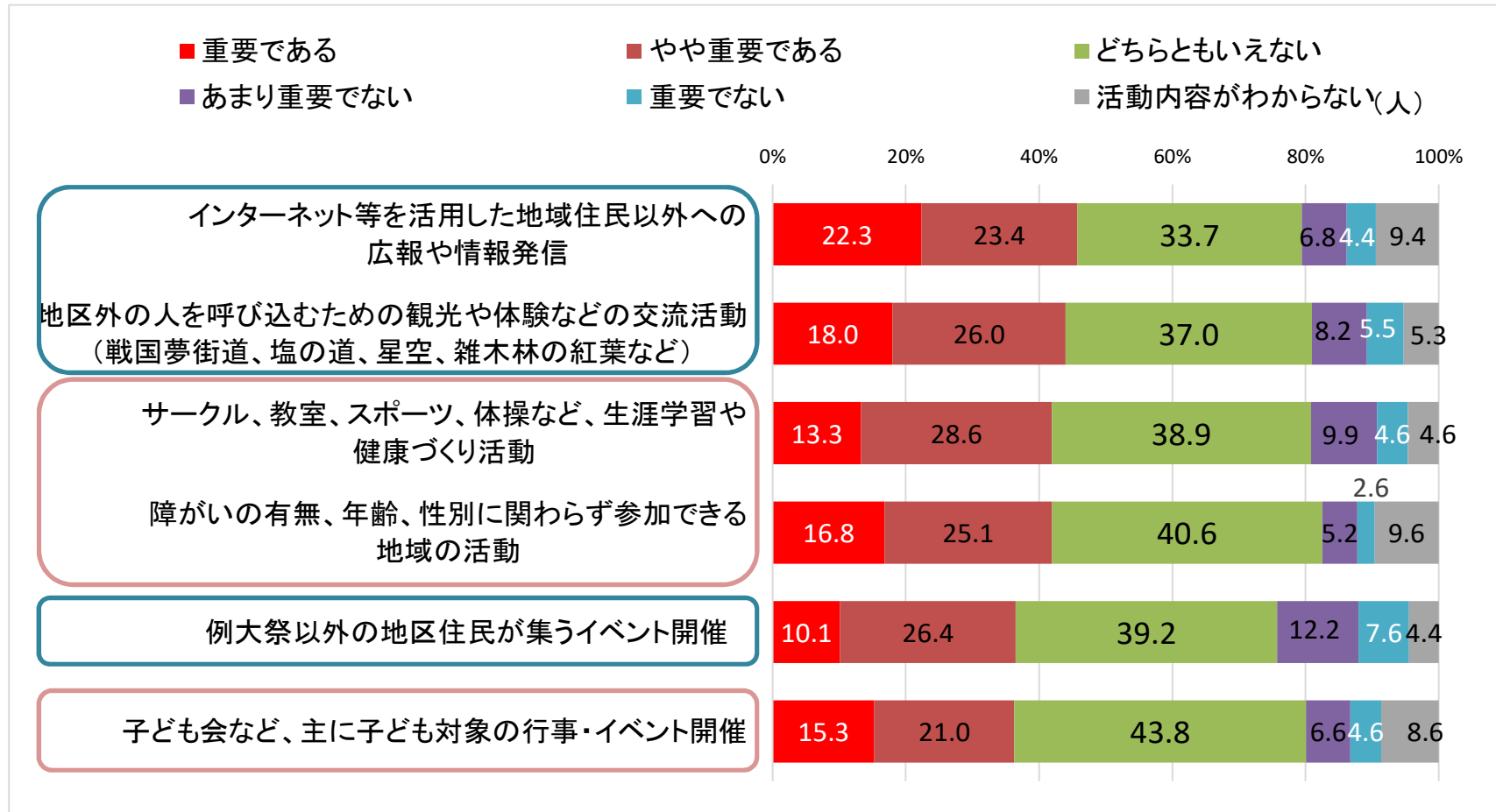
として集計

(参考1) 「三倉地区での活動」別の「重要度」の割合



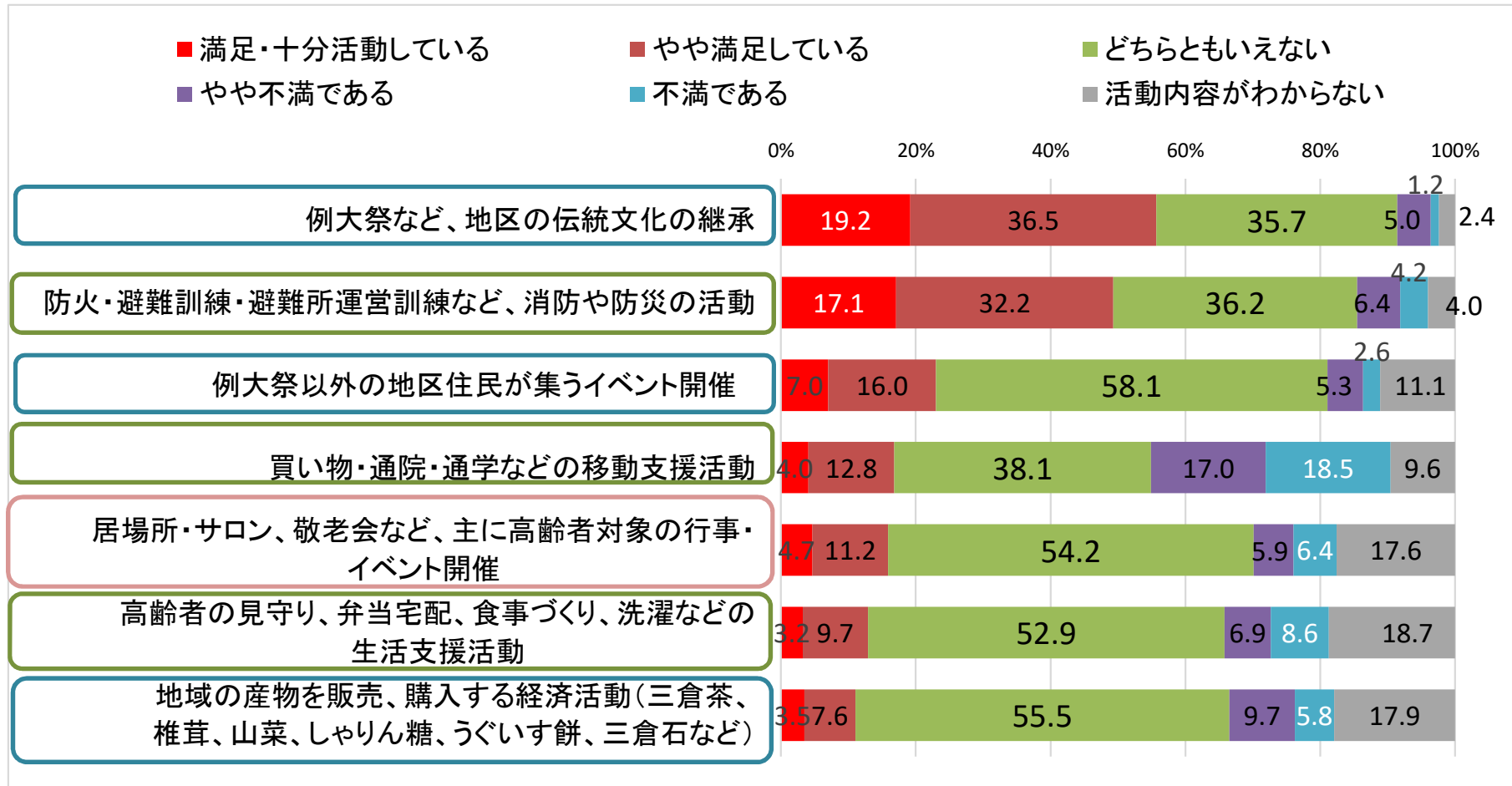
重要度の高い項目は、居住環境の整備、続いて文化的・経済的活動、子育て・介護予防があげられている。

(参考2) 「三倉地区での活動」別の「重要度」の割合



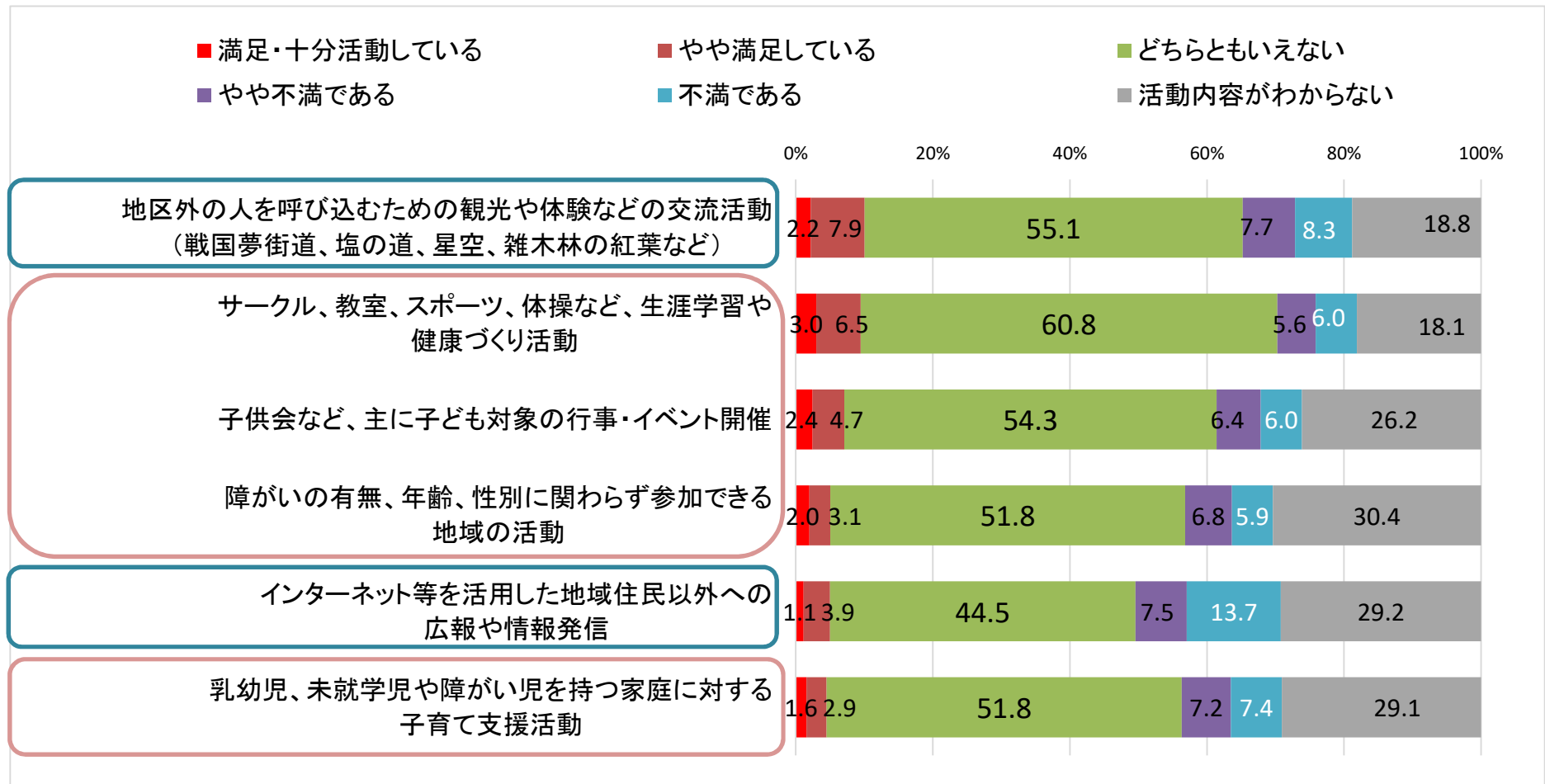
重要度の割合が中央～低い項目は、文化的・経済的活動、子育て・介護予防に関するイベント活動が多かった。例大祭のような地域の伝統文化を継承するもの以外のイベントへの重要度は相対的に低くなっている。

(参考3) 「三倉地区での活動」別の「満足度」の割合



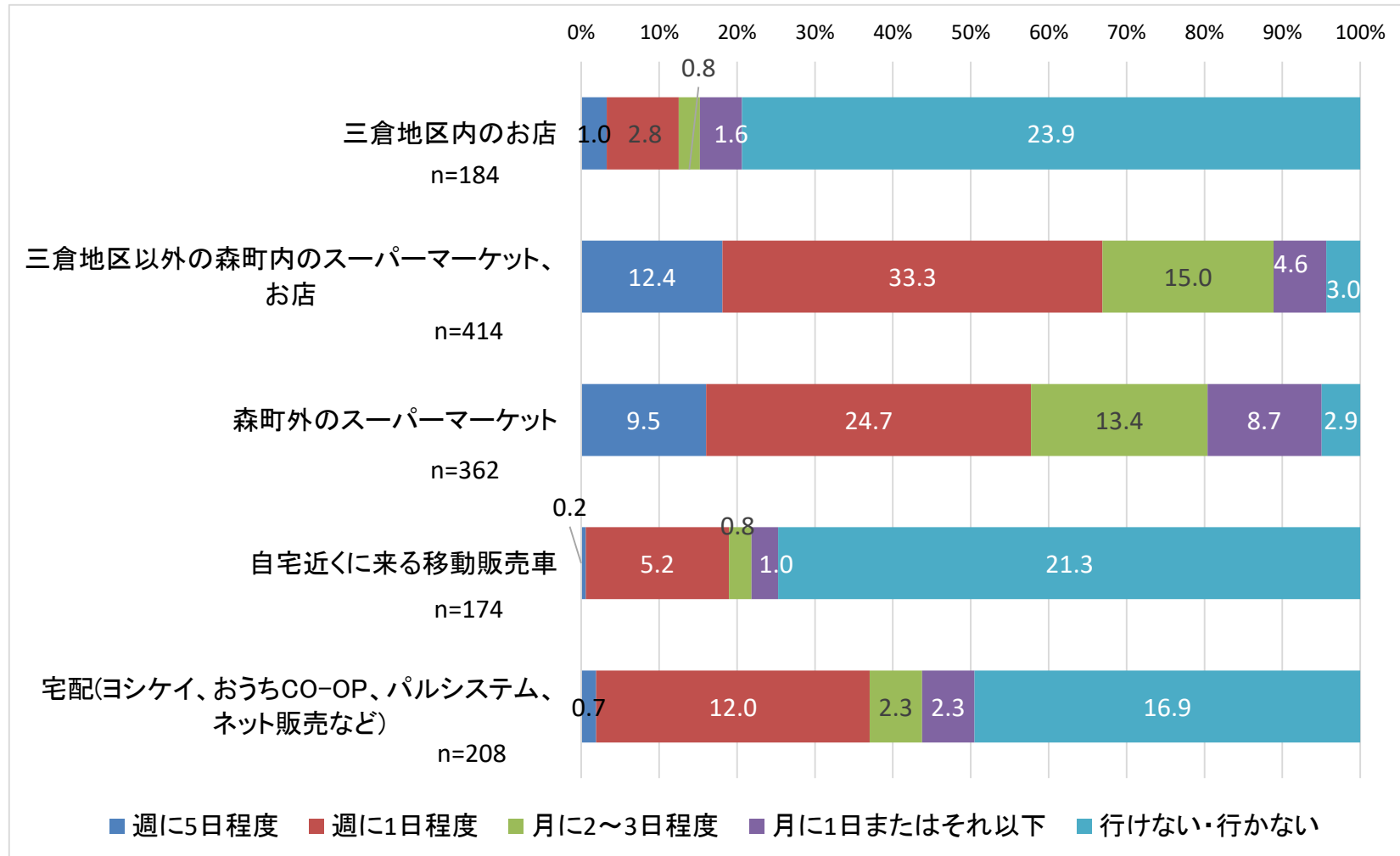
満足度の高い～中央の項目は、文化的・経済的活動や居住環境の整備があげられている。ただし、後者のうち移動支援活動は不満も大きい。

(参考4) 「三倉地区での活動」別の「満足度」の割合



満足度の割合が低い項目は子育て・介護予防が多い。特に子育て支援活動への満足度が低く、高齢者対象の行事への満足度と対照的。加えて、広報や情報発信への不満も比較的大きい。

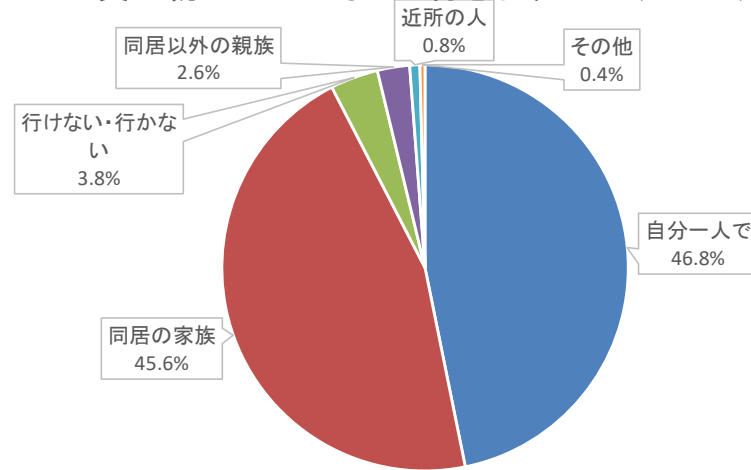
各商店等における「買い物する頻度」の割合



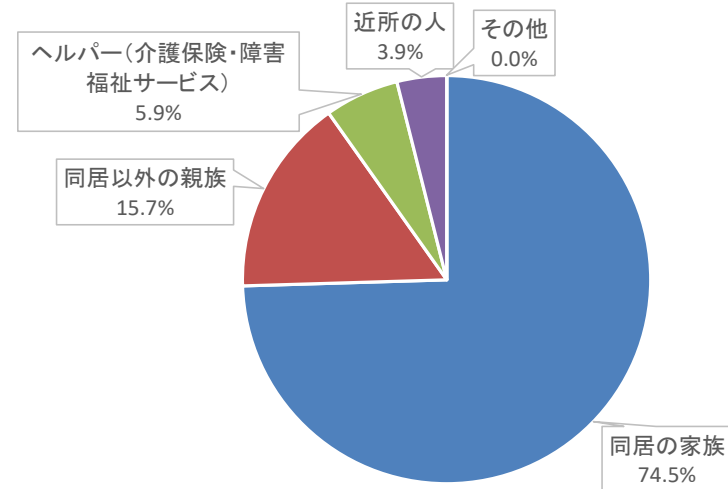
週1回以上利用すると回答した割合が高かったのは「三倉地区以外の森町内のスーパーマーケット、お店」で、「森町外のスーパーマーケット」が続く。地区内のお店の利用者は少なく、宅配を利用している人の方が多い。

主に一緒に買い物に行く人、買い物をお願いする人

買い物は主にどなたと行きますか？ (n=502)

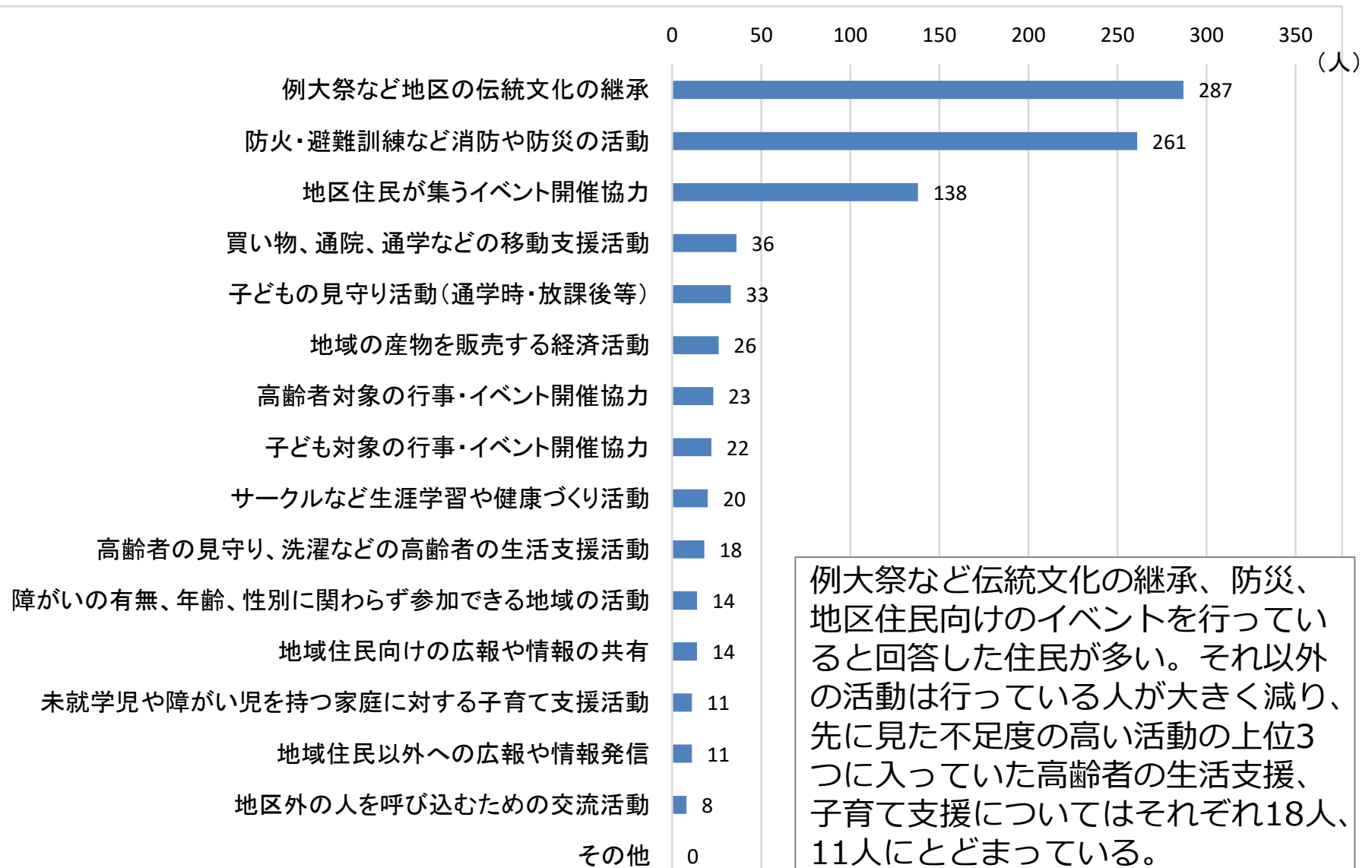


主に買い物をお願いするのはどなたですか？ (n=208)



買い物には「自分一人で」行くと回答した人が最も多く、「同居の家族」と合わせると全体の92.4%にのぼる。また、自分では行かないと回答した人の多くが、「同居の家族」が代わりに買い物に行くと回答している。

行っている活動（複数回答）

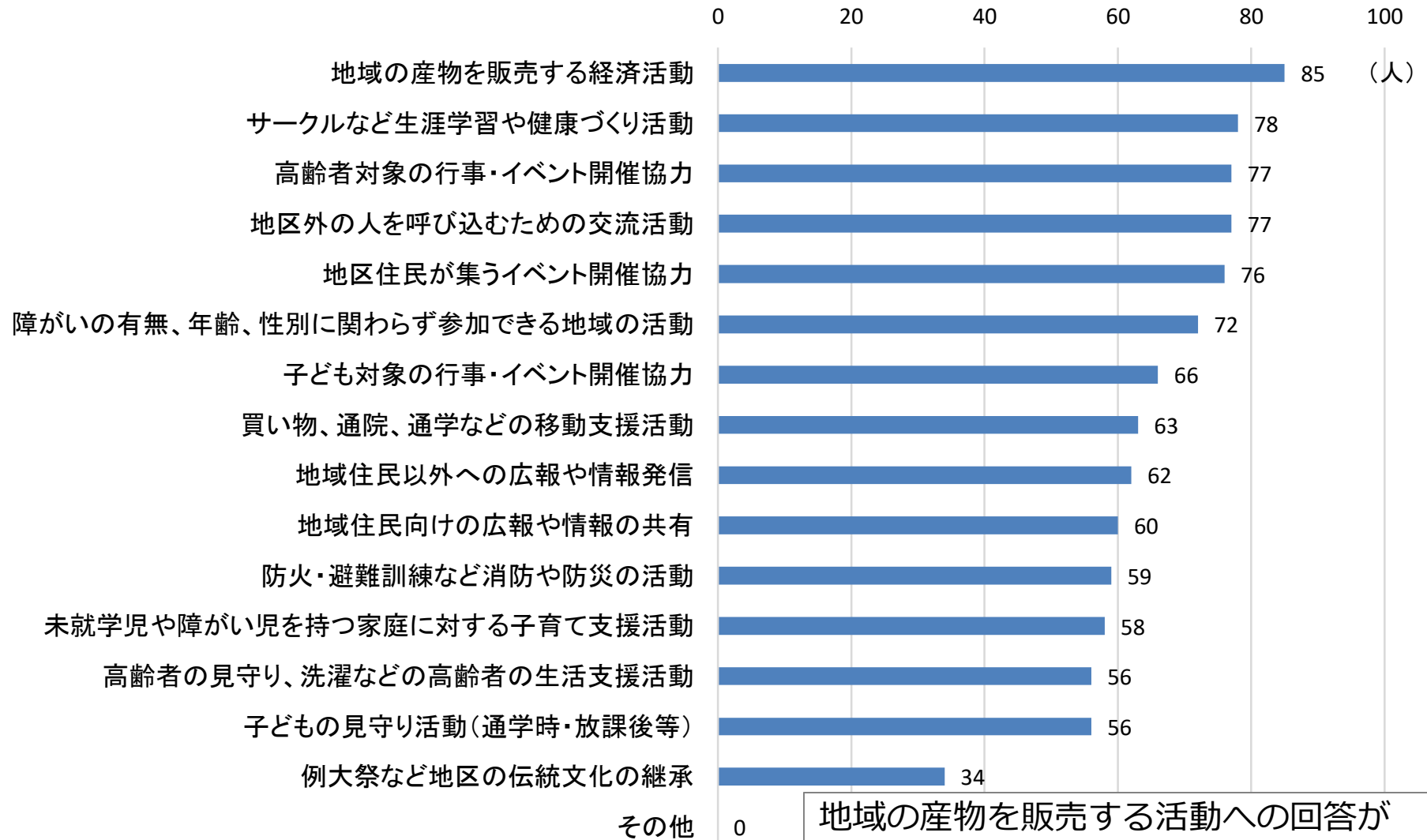


年代別「行っている活動」上位3位（複数回答）

	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代		90歳代以上		
1位	防火・避難訓練など消防や防災の活動	例大祭など地区の伝統文化の継承	例大祭など地区の伝統文化の継承	例大祭など地区の伝統文化の継承	例大祭など地区の伝統文化の継承	例大祭など地区の伝統文化の継承	防火・避難訓練など消防や防災の活動	防火・避難訓練など消防や防災の活動	例大祭など地区の伝統文化の継承	例大祭など地区の伝統文化の継承		
回答数	9	17	18	29	43	79	61	26	26	5		
2位	例大祭など地区の伝統文化の継承	地区住民が集うイベント開催協力	防火・避難訓練など消防や防災の活動	防火・避難訓練など消防や防災の活動	防火・避難訓練など消防や防災の活動	防火・避難訓練など消防や防災の活動	例大祭など地区の伝統文化の継承	地区住民が集うイベント開催協力		防火・避難訓練など消防や防災の活動		
回答数	8	9	16	24	41	72	58	10		3		
3位	地区住民が集うイベント開催協力	防火・避難訓練など消防や防災の活動	子どもの見守り活動（通学時・放課後等）	地区住民が集うイベント開催協力	地区住民が集うイベント開催協力	地区住民が集うイベント開催協力	地区住民が集うイベント開催協力	買い物、通院、通学などの移動支援		地区住民が集うイベント開催協力	高齢者対象の行事・イベント開催協力	地域の産物を販売する経済活動
回答数	3	7	5	14	21	36	37	8		1	1	1

全年代に共通して、上位3位に「防火・避難訓練など消防や防災の活動」、「例大祭など地区の伝統文化の継承」が入っており、30歳代を除いて「地区住民が集うイベント開催協力」も行っている人が多い。

行ってみたい活動・協力できる活動（複数回答）



地域の産物を販売する活動への回答が最も多い。
先に見た不足度の高い活動の上位3つに入っていた高齢者の生活支援、子育て支援にも50人以上が回答している。

年代別「行ってみたい活動」上位3位（複数回答）

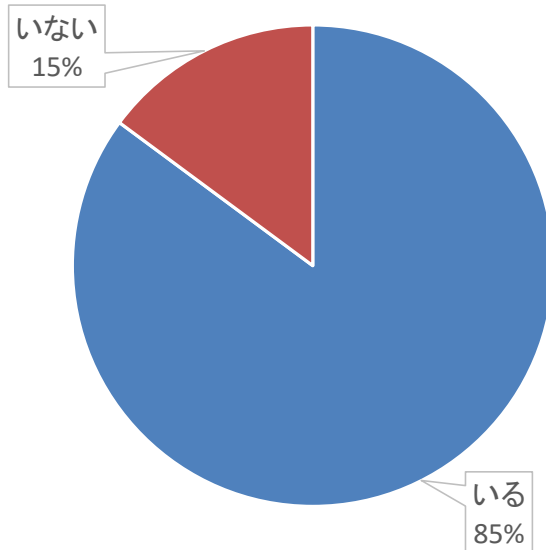
	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上			
1位	地区外の人を呼び込むための交流活動	防火・避難訓練など消防や防災の活動	買い物、通院、通学などの移動支援活動	子ども対象の行事・イベント開催協力	地域の産物を販売する経済活動	高齢者対象の行事・イベント開催協力	地域の産物を販売する経済活動	地区住民が集うイベント開催協力	高齢者対象の行事・イベント開催協力			
回答数	5	8	5	10	12	23	25	11	3			
2位	地区住民が集うイベント開催協力	地区住民が集うイベント開催協力	子ども対象の行事・イベント開催協力	サークルなど生涯学習や健康づくり活動	サークルなど生涯学習や健康づくり活動	地域の産物を販売する経済活動	サークルなど生涯学習や健康づくり活動	障がいの有無、年齢、性別に関わらず参加できる地域の活動	障がいの有無、年齢、性別に関わらず参加できる地域の活動	サークルなど生涯学習や健康づくり活動		
回答数	4	6	5	10	11	21	21	11	2	2		
3位	地域住民以外への広報や情報発信	買い物、通院、通学などの移動支援活動	子ども対象の行事・イベント開催協力	未就学児や障がい児を持つ家庭に対する子育て支援活動	障がいの有無、年齢、性別に関わらず参加できる地域の活動	地区住民が集うイベント開催協力	買い物、通院、通学などの移動支援活動	地区住民が集うイベント開催協力	地区外の人を呼び込むための交流活動	地区外の人を呼び込むための交流活動	地区外の人を呼び込むための交流活動	地域住民向けの広報や情報の共有
	4	5	5	5	9	10	10	19	20	10	2	2
	地域住民向けの広報や情報の共有	地域住民以外への広報や情報発信		障がいの有無、年齢、性別に関わらず参加できる地域の活動	地区外の人を呼び込むための交流活動	高齢者の見守り、洗濯などの高齢者の生活支援活動						
回答数	4	5		5	9	10						

※同率が多いため、一部同じ回答者数のものが異なる順位の欄に入っています。

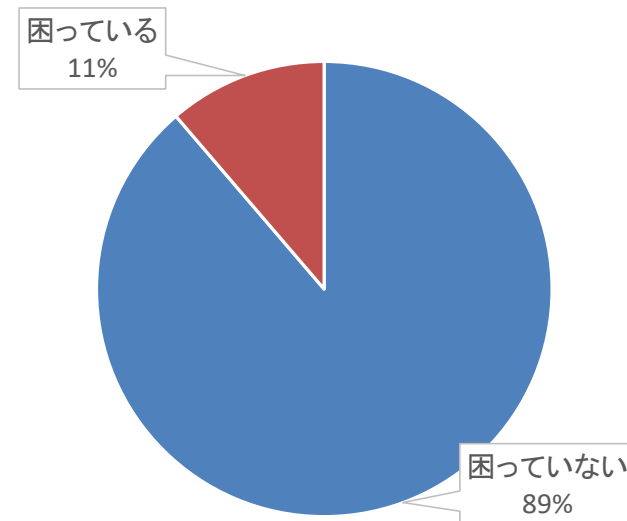
「行ってみたい活動」では、子育て世代である20歳代～40歳代で「子ども対象の行事・イベント開催協力」が入っている。10歳代～20歳代では広報や情報発信を行ってみたいという回答もみられる。

いざというときに相談できる相手の有無

いざというときに助け合える人や信頼して相談できる
人がいますか？ (n=518)

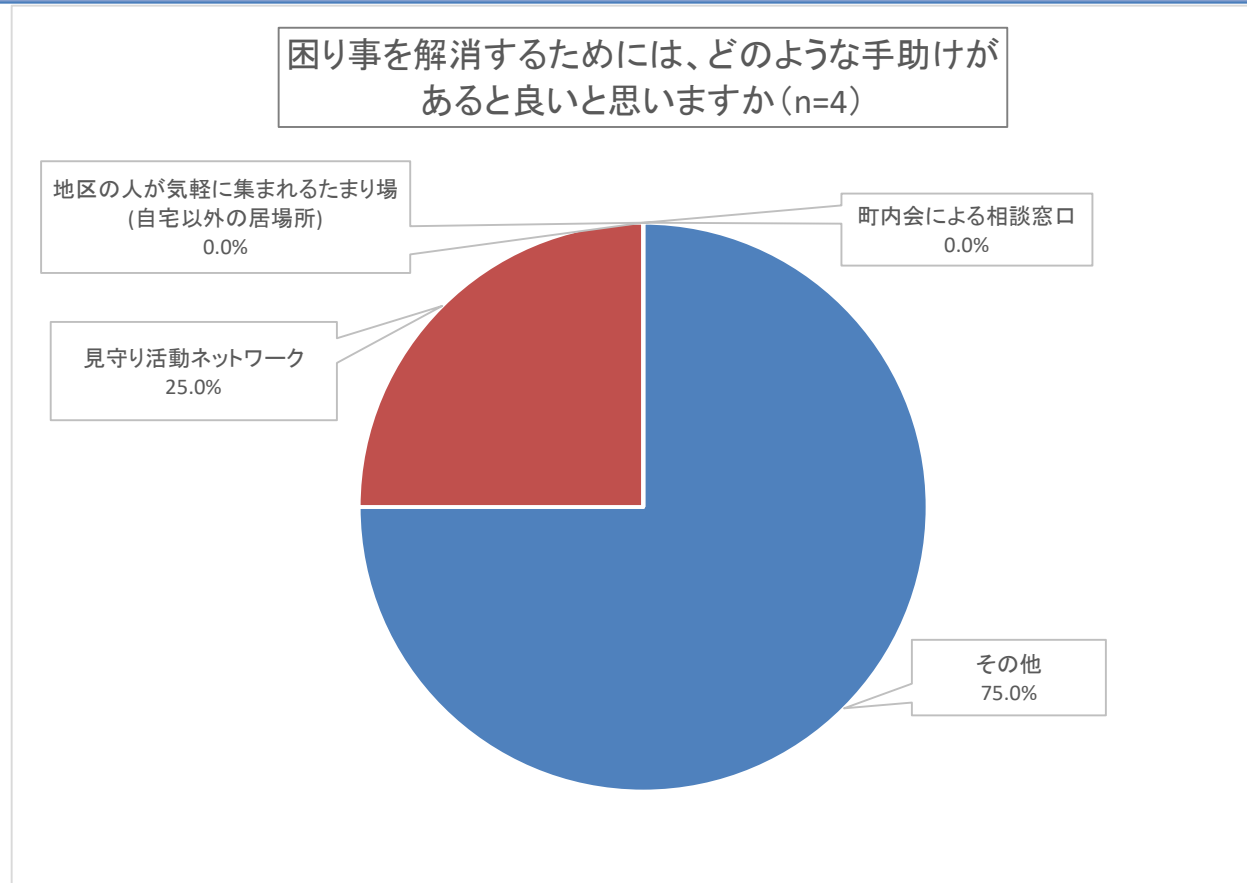


「いない」ことで、日常生活で困っていることはありますか
(n=71)



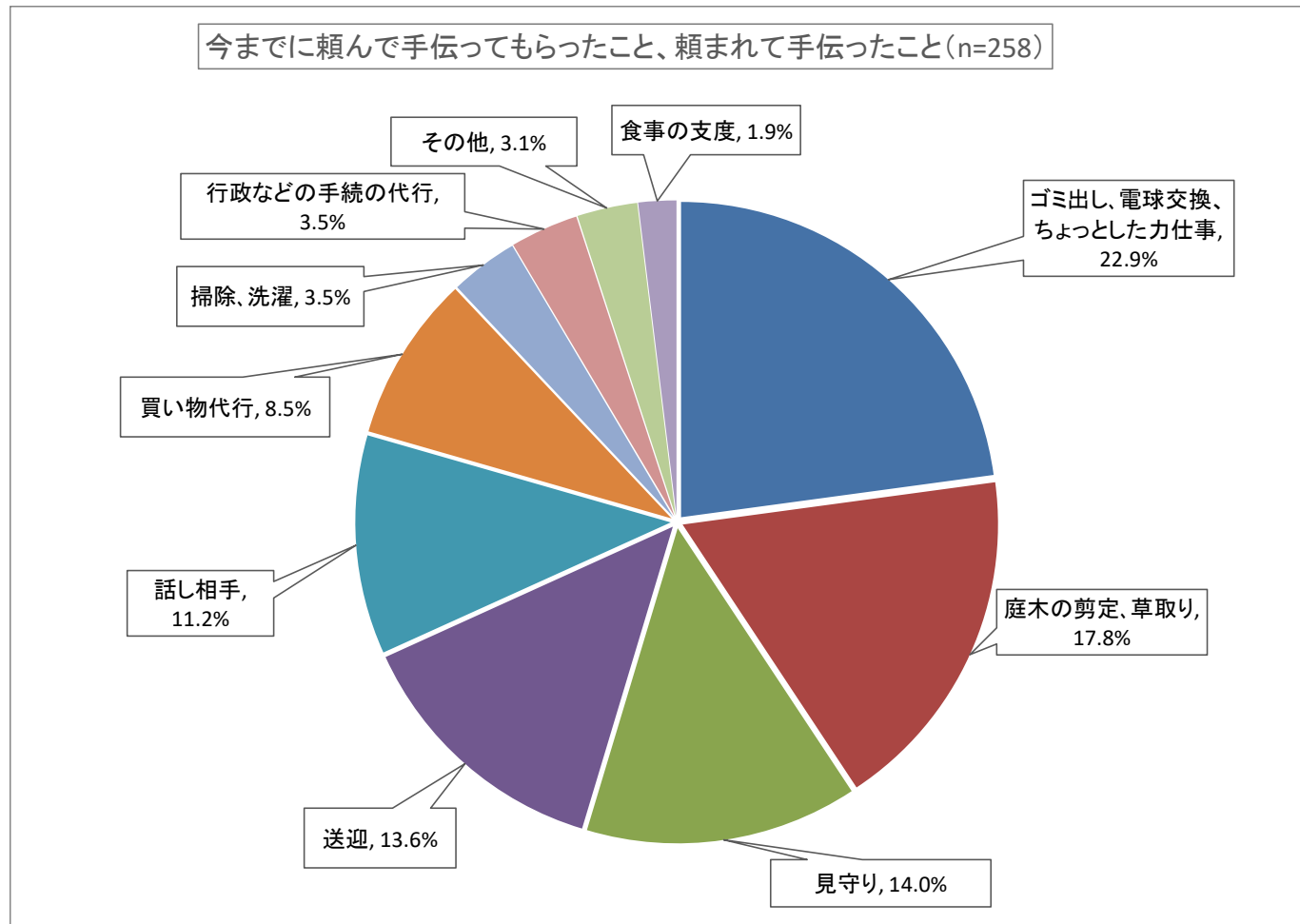
「いざという時に助け合える人や信頼して相談できる人がいない」と回答したのは回答者の15%で、そのうち、そうした人がいないことにより困っている人は11%にとどまっている。

困りごとを解消するための手助け (先の質問で「困っている」と回答した人のみ)



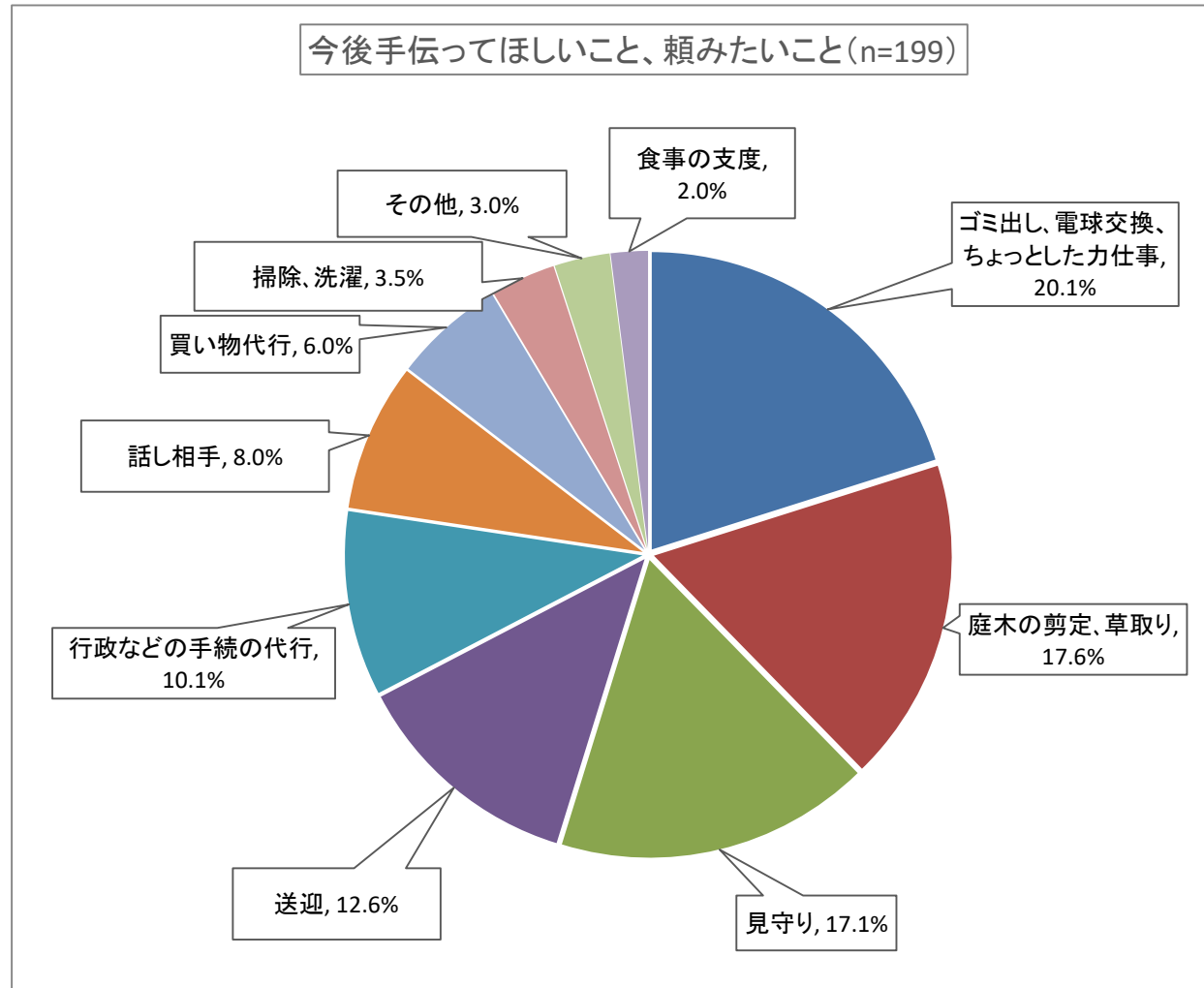
「その他」の自由記述では、「プライバシーが守られるところ」や「送迎ボランティア」、「近所の人」といった回答がみられた。

今までに頼んで手伝ってもらったこと、頼まれて手伝ったこと



これまで手伝ってもらったり手伝ったりしたことの1位は「ゴミ出し、電球交換、ちょっとした力仕事」であり「庭木の剪定、草取り」が続く。こうした日常の軽微な作業が助け合い行われている。

今後手伝ってほしいこと、頼みたいこと



今後手伝ってほしいこと、頼みたいことの上位4つはこれまで手伝ったことと同じだが、5位に「行政などの手続きの代行」が入っている。

今後も住み続けるために必要なこと

- いざという時に助け合える人がいない、という人は、無回答を除くと15%にとどまり、そうした人の中でも現状として困っているという人はわずか
- ただし、調査対象者の半数近くが、これまで何かしらの手伝いをしてもらったり、手伝ったりしたことがある
- その上位は、ちょっとした力仕事、庭の手入れ、見守り、送迎
- 買い物や移動は、住んでいて不安なこと、困っていることの上位にもあがっている

⇒こうした生活上の不便を解消できるような支援の仕組みを作ることが求められている